

「話し合い」を育てる

名古屋市学校教育研究会
特別活動研究部会長

白石 悟

特別活動には、学級活動をはじめ児童会・生徒会、委員会、学校行事など様々な活動があります。それらの活動を通して、私は一人でも多くの子どもたちに、心に響く、本物の感動・感激の体験を味わわせたいと思っています。

私たちには、子どもたちが見つけた問題を、子どもたち自身で解決できる力を育てる使命があります。その解決の基盤となるのが話し合いです。

とても手間はかかりますが、小学校の低学年から話し合いの基礎を根気よく育てる必要を感じます。生きて働く力としての話し合いが育てば、感動・感激の体験を味わうだけでなく、心豊かな人間への成長が期待できます。

学級活動にチャレンジ！

【講座①】人間関係を深め、仲間づくりをしよう！

仲間づくりに役立つゲームを紹介！

ゲームを通して、楽しく遊ぶだけでなく、協力したり、いつもとは違う立場になったり、仲間の新たな一面に気づいたりすることができます。

ゲームをするときは・・・

- ルールを徹底させるため
本番の前に「練習」を！
- 明確な判定をすることで、
勝っても負けてもその場で
すっきり！
- ルールを工夫し、みんなにチャンスがあるように！
子どもをゲームリーダーにするのもOK。
- 教師が思いきり楽しむことで、子どもも楽しむ。
- 応援している子を褒めることも忘れずに！
- トラブルは「どうするとよいか」を考えるチャンス！



「ちょっとしたゲームが楽しい会話を生み、人と人をつなげることを再確認しました」（小学校5年担任）



「計画委員会の様子や先生の助言の仕方が分かり、ためになりました」（小学校1年担任）



「意見がそれたり、否定的な意見が出たりした時に、どうしたらよいか分かりました」（小学校1年担任）

◆◆ 参加者の声 ◆◆



【講座②】学級会（模擬授業）を体験しよう！

小学校6年生になったつもりで「6の1の絆を深めよう」を議題に模擬学級会を行いました。高学年の話し合いでは、多様な意見のよさを生かした集団決定を目指します。そのため、以下のようなポイントが大切です。

ポイント1

学級会を計画的に進められるように（計画委員会）

計画委員会を組織し、役割分担を行います。司会マニュアルなどを用意し、自主的に進められるようにします。事前に一人一人に考えをもたせたり、事後に振り返りをさせたりすることも大切です。



ポイント2

話し合いを自主的に進められるように（教師の指導・助言）

「自主的な話し合い」と言っても、放っておいてはいけません。
くこんなときは・・・>
「話し合いの方向がずれる」 → めあての確認をしたり、論点を整理したりする
「人を責める発言が出る」 → 学級としてどうしていくとよいのかを考えさせる
「主張のし合いで進まない」 → 互いの案のよさに目を向け、合わせられないかを促す

今後の
学習会
は・・・

希望の会（ビデオで学ぶ会）のお知らせ

●特別講演 文部科学省教科調査官 杉田 洋 氏 ●ビデオで学ぶ学級活動、協議

12月10日（土） 13:30～17:00 ウィルあいち にて

なごやとっかつ

検索

どなたでも参加できます。ぜひご参加ください。詳細は、なごやとっかつWebサイトへ！

見つけた！
おもいろ実践

「やらなくてはならない活動だからやる」のではなく、「こうしていきたい」という願いを大切に、主体的に活動に取り組むことができる児童の育成を目指しました。（小学校6年）

福田小学校 教諭 佐々井 恵里



振り返りノートの工夫

目指せクローバーノート

- ① 明日の児童集会で、あなたの役割はなんですか？
- ② 明日の児童集会で低学年の子たちに楽しんでもらうために、活動しますか？具体的に書きましょう。（今回のめあて）

個々のノートに、毎回の活動の目標設定とその振り返りを積み重ねていきました。（本学級では、学級のシンボルマークをもとに「クローバーノート」と名付けました。）

集会活動 1

左ページ 右ページ

1年生に優しく接する。

優しいだけでなく、みんなが楽しめるようにしたい。

目標を記入

反省点を記入

集会活動 2

左ページ 右ページ

自分だけではなく、みんながやりたいものを優先する。

ゲームの時も、待っている間も楽しませたい。

1年生との交流を行った学級集会活動では、実践前の活動目標の設定と実践後の振り返り活動を繰り返し行った結果、2回目以降の集会では、より具体的な目標をもつことができるようになった児童が増えました。このように、継続した活動において、目標設定と振り返りの繰り返しを積み重ねていくことで、児童がより主体的に活動に取り組もうとする姿が見られるようになりました。

名古屋の先生★全国で活躍

夏季休業中に行われた研究大会において、名古屋の代表も実践発表を行いました。

【第46回小学校学校行事研究全国大会 京都大会】 8月4・5日

テーマ ～明日へのとびらを開く学校行事の創造～

中村小 服部易弘先生 ありがとう、そして任せてよ ～思いをつなぐ卒業式～

【第55回全国特別活動研究協議大会 愛知・豊橋大会】 8月9・10日

テーマ ～豊かな心をもち たくましく生きる姿を育てる特別活動～

米野小 木村泰樹先生 考えを伝え合い、生かし合う児童の育成
～みんなでつくりあげる喜びを味わう学級活動を通して～
楠 中 田中 太先生 集団の向上のために、思いを出し合おうとする生徒の育成
大手小 山岸 温先生 仲良く助け合って学級生活を楽しくする子どもの育成
西福田小 荒木さとみ先生 望ましい勤労観を育てる学級活動

どちらの大会においても、全国の先生方と共に、活発な協議や意見を行い、有意義な会となりました。

